

断熱×耐震 電気代高騰 南海トラフ 性能向上リノベーション

最近テレビなどでもよく取り上げられている性能向上リノベーション、ご存じですか？建てられた年代毎に耐震や断熱の性能基準はまちまち。あなたのお住まいは築何年になられているでしょうか。

断熱リフォーム で家の断熱性能を高め
夏は涼しく 冬は暖かい 家で暮らそう

断熱リフォームをすればこんなにメリットが！

- 窓からの冷気を感じなくなった
- カビや結露が発生しにくくなった
- 周りの騒音が気にならなくなった
- 部屋ごとの温度差が小さくなった
- 暖冷房がよく効き、光熱費が下がった
- 気密性が上がり、砂やホコリが入らなくなった

快適性アップ 健康な暮らし 省エネ・省CO2効果

おうちの快適性が向上し、家族が健康になり、省エネ・省CO2で地球の健康にもつながります。

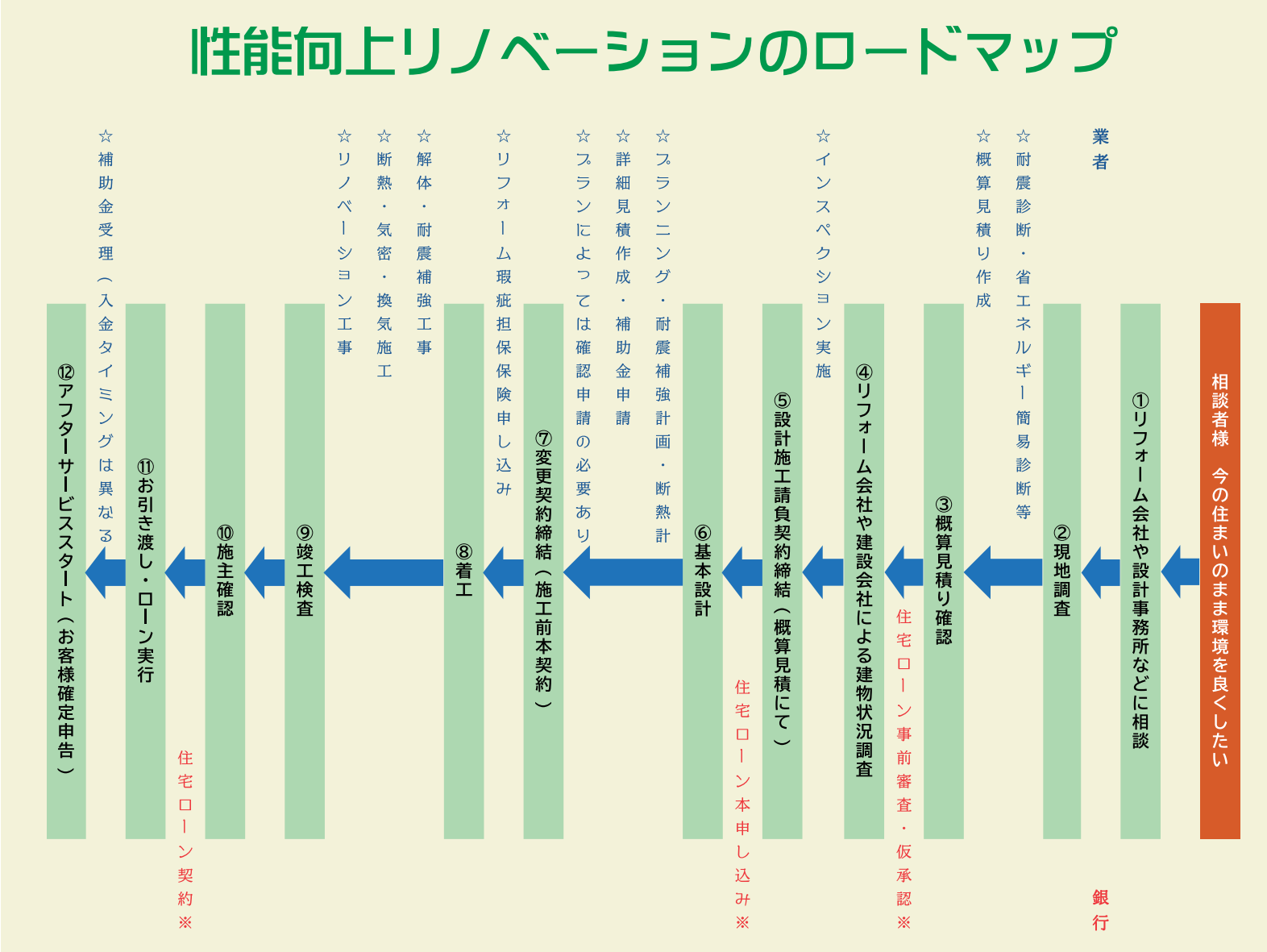
年次	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和5年	3月20日	4月16日											
令和6年													

※公募要領に準わず、締切会下の更新が適用されることがあります。必ず断熱リフォームページにて最新の公募要領をご確認ください。

近年では国の施策としてこれらのリフォームへの補助金が多く交付されています。「こどもエコすまいる支援事業」は予想外の勢いで申込み上限額に達し、次年度以降での補助金に期待したいところです。その他「先進的窓リノベ事業」や「給湯省エネ事業」は引きつづき受付可能で、新たに「断熱リフォームの補助金」も受付が開始されました。

補助金・助成金のタイミングに上手く乗せるには、煩雑な手続きや申込みがどう進むか理解し、事前にご相談いただいておりますのがベストです！本当に行くかどうかは決めていないけれど、将来を見据えて考えておくことで住み慣れた家に長く暮らすことが可能になります。一度ご家族でご相談されてはいかがでしょうか？

9月から募集が始まった「既存住宅の断熱リフォーム支援補助金」



HIROSHIMA 2023

私は生まれも育ちも神戸の生粋の神戸人ですが、祖父の代までは広島に居を構えており、今も私が入る予定の高橋家の墓地は広島駅のすぐ近く、山根町国分寺にあります。住んでいる場所から遠く離れた街に墓参りに戻ると言うとお互いの近況を報告し合うようなイメージがありますが、残念ながら、祖父が暮らしていたのも、親戚の人たちも皆、広島市内であった為、原爆が投下された日に、私の広島でのルーツは全て消滅、殺戮されてしまいました。



ポツダム宣言受諾から78年経った今年、20数年ぶりに家族と広島に行ったのは何か特別な意味があったように感じました。そこには1人で広島に行ったところ、広島サミットのこと、広島サミットの高橋サミットが原爆被害者から聞き取った当時の惨状を描いた絵画展が同時に開催されています。私が2人を誘ったので、今年が、それは無意識で、今年が、広島サミットで、G7の首脳が広島に集まり、献花して残ったときの映像が頭のどこかに残っており、しっくりこない違和感とともに引っかかり、世界を目指しているとは思え

78年前の当時、たまたま祖父だけが神戸に出てきて働いており、唯一生き残った高橋家の血が受け継がれて、私が誕生したと聞いています。幼い頃から、そんな自分の生い立ちを聞かされてきて、私は広島のと原爆には深い思い入れがあります。

ここ近年は私1人でお寺さんに参っておりましたが、今年も20年以上ぶりに父親と弟にも声をかけ、男3人でちょっとした旅行気分での墓参りになりました。お盆は日本では先祖を敬い、感謝する日と定義されており、感謝する日は亡くなった先祖だけでなく、まだ生きていた父親にも感謝の気持ち伝える機会とするのが出来たのは、とても有意義で良い時間となりました。親孝行、したい時には親はなしと言いますし。

広島サミットの違和感

ポツダム宣言受諾から78年経った今年、20数年ぶりに家族と広島に行ったのは何か特別な意味があったように感じました。そこには1人で広島に行ったところ、広島サミットのこと、広島サミットの高橋サミットが原爆被害者から聞き取った当時の惨状を描いた絵画展が同時に開催されています。私が2人を誘ったので、今年が、それは無意識で、今年が、広島サミットで、G7の首脳が広島に集まり、献花して残ったときの映像が頭のどこかに残っており、しっくりこない違和感とともに引っかかり、世界を目指しているとは思え

うわべの追悼

しかし、平和祈念公園で献花と共に添えられた各国首脳による直筆の被爆者に向けた追悼文はどこか空々しく、防衛費増を掲げる岸田総理をはじめとして本心に核兵器なき世界を目指しているとは思え

広島サミット回顧展

広島選出の代議員であり、日本の総理大臣の座に上り詰めた岸田氏はいわば現代の広島英雄です。「検討使」の異名を取り、施策に対する不評も少なく、支持率よりも不支持率が上回っている状態ですが、広島の人で岸田総理を悪く言う人は（私の周りでは）皆無です。

そのサミット回顧展の展示場の隣で開催されていた原爆絵画展は、広島を題材にした名作漫画、はだしのゲンに描き写されていた悲惨な光景が深い情念を込めて描かれた絵画がずらりと並んでいました。もう残り少なくなつた被爆者の生者に、高校生が当時の模様をヒアリングして油彩画に現した作品は、人を人と思われない無差別殺人の攻撃を受けた人たちの苦しみと悲しみが映し出されており、見ていて、胸が苦しくなるほどリアルな表現をされているものもありました。敗戦からもうすぐ80年が来ます。私の父親は5歳でその年を迎えたと話していますが、戦争の記憶はもう殆ど残っていないこと。広島で続けられている戦争の記憶を次世代に残し、その悲しさを植えつける取り組みの重要性は年を追うごとに増していると思えます。それは平和教育と言った生ぬるいものではなく、16世紀以降、人を人として見ない悪魔の所業を正視して、本質的な多様な性の受容と人の心に存在する大きな効果性についての認識を深める、人が人である所以を再確認する場と機会を作るべきだと思えます。2023年の広島で隣り合わせで行われている2つの展示を見比べて圧倒的な違和感を多くの人に感じて貰いたいと思つた次第。世界平和が人類の望みだと信



高橋剛志 拝